

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1132 2014年7月号

「愛媛大学と連携協定を締結」

6月23日、四国森林管理局と愛媛大学は連携と協力に関する協定を締結いたしました。
【詳細2頁】



協定調印式後

(左側 浅川京子四国森林管理局長、右側 柳澤康信愛媛大学長)





六月二三日、四国森林管理局と愛媛大学は連携と協力に関する協定を締結いたしました。

当日は愛媛大学本部において、双方の関係者及びマスコミを前に、浅川四国森林管理局长と柳澤愛媛大学

長による調印式が行われました。

今回の協定締結のきっかけは、平成二五年度に実施した准フォレストラー研修において愛媛大学の太田教授（農学部森林資源学コース）に講師をしていただいたこと

縁によるものです。研修が進む中で、研修が終わってからも、継続的な連携が

できないものかとどちらから

というわけでもなく、話が持ち上がり、今般、協定と

いう形で実現しました。

この協定は、双方が、それぞれの人材や資源の活用を図りながら、持続的かつ

安定的な木材の供給をはじめとする森林の有する多面的機能の持続的発揮、森林・

林業の再生及び地域の振興に貢献できるような調査研究及び人材育成等の推進を

図ることを目的としていま



協定調印

そして、連携、協力する事項として、「人材育成」と「地域振興」が謳われています。

具体的な取組のひとつとして、高性能林業機械による伐木造材、架線系作業システム、路網作設といった

大学演習林ではなかなか経験することができない国有林野事業の普段どおりの現場を見てもらうことが学生

にとつては、貴重な経験となり、いい研修の機会になる

と考えると、今年度の取組としては、

本年度の取組としては、

と考えると、今年度の取組としては、

本年度の取組としては、

動きについて紹介いたしました。



浅川局长記念講演



六月一五日、高知県香南市立野市小学校の環境フェスティバルで森林木工教室を開催しました。

このフェスティバルは、「環境に関わる学習を児童が保護者とともに学んだり、体験することで、環境に対する関心を高めること」を目的に、毎年、父の日を参観日として行われています。今年で八回目となるようです。

講座は、昔遊び、災害時の食の備え、光の話と実験など二六講座からなり、四

国森林管理局は、「木工クラフトを通して木材の良さを知り、森林の役割について考える」をテーマに森林木工教室を開催しました。

ラフトを通して木材の良さを知り、森林の役割について考える」をテーマに森林木工教室を開催しました。

局の講座には、二年生から四年生の二四名の参加がありました。

最初に当局、技術普及課長補佐から挨拶を兼ねスナップ紹介、講座の内容を説明した後、「森林の働きについて」の説明を行いました。

講座は、昔遊び、災害時の食の備え、光の話と実験など二六講座からなり、四

を考えた学習にし、野市小

学校の近くを流れている物部川を題材として森林教室に導入したことで児童達の関心が高まりました。

まず、クイズ方式で物部川のこと、野市町の水道の水はどこからきているのか。といった内容で児童達が身近な川について学習しました。

次に、森林の働きについては、児童達に発言して



「森林の働き」の学習

もらい、パネルを用いて復習するといった手法で実施し、「森林は緑のダム」といわれ、皆さんが生活をしていく上で大切な役割を果たしていることの説明を行いました。

学習の最後に「この講座をきっかけに、家に帰ってお父さん、お母さんと一緒に考えて下さい。」とお願いをし、森林教室を終えました。

木工教室は、正岡さん（OB）とボランティアの二名を加え五名で指導しました。

作品が一一種類と幅広くなっていることから、指導が行き届かない面があるのではないかと心配していま

ましたが、父母の参加があったのでスムーズに進行することが出来ました。

作品によっては、三〇分足らずで完成するものもあり、余った時間の対応としてジージゼミ（糸電話を応用した竹製品で、割箸の先に松ヤニを塗って廻すと

蝉の鳴き声をする）作りを行いました。これが人気で児童だけでなく父母も一緒に作って作っていました。作品作りに時間一杯かかった子供達には完成したジージゼミをプレゼントしました。

今回の森林教室は、二年

生から四年生までの児童達でしたが、「森林の大切さ」の話にも熱心に耳を傾け発言し、木工品づくりでも指

導者の言うことをよく聞いていました。

児童達の感想文の中に「森林は土しやさいがいを

ふせいだり水や空気をきれいにしてくれます。工作は色をぬったりボンドでつけたりしてたいへんでした、でも、とてもいい物ができたのでうれしかったです」といった感想が寄せられました。

また、担当の先生からは、「森林木工教室の講座は非常に人気があったのでまたお願いすることになると思います。その際はよろしくお願ひします。」と早くも来年の講座のお願いがありました。

今年度、技術普及課としての最初の森林木工教室で

したが、「森林の働き」を考える一つのきっかけ作りになったのではないかと考えています。

今年も七月から本格的な出前授業が始まります。クイズ形式、地域や学校に

添った手作り教材など昨年度とは違った森林教室にも取り組んでいきたいと考えています。



親子で仲良く木工品づくり

職員永年勤続表彰



平成二六年度四国森林管理局職員永年勤続表彰式を六月二五日、局大会議室で行いました。

表彰式では、浅川局長から受賞者の長年にわたる職務への努力と受賞者を支えてこられた家族の方々への労いの言葉と『平成二五年四月から一般会計移行し、今後は一層の公益重視の管理経営を行うとともに、民有林支援の強化を図ることとして、皆様が長年に亘り培われた豊富な見識と経験を今後とも

活用していくことが必要であり、それぞれの職場において、開かれた「国民のための森林」に向け、また、民有林も含めた四国全体の森林・林業の活性化に向け、精一杯御尽力願いたい。』との式辞があり、林野庁長官の祝辞を井上業務管理官が代読し、その後受賞者一人一人に局長から表彰状が手渡されました。

次に、全国林野関連労働組合中央執行委員長からのメッセージが総務課長から披露されました。

また、受賞者を代表して、計画保全部の戸島さんから、「私共も微力ではありますが、従来積み重ねてきた林業技術の継承に努め、これまでの体験を業務に活かし、「国民のための国有林」として立派な山を次世代に引き継ぐとともに、地域の森林・林業及び木材産業等の発展に貢献していくことが、私どもに課せられた重要な責務であると考えております。」と答辞がありました。



答 辞